

国際理解セミナー

多文化共生社会の新局面

—2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えて—

2014年7月26日(土) 於千葉中央ツインビル

静岡文化芸術大学 文化政策学部

国際文化学科 教授 池上 重弘

<http://wwwt.suac.ac.jp/~ikegami/>

HP 池上重弘研究室





0 今日の講演の目的

1 統計に見る日本で暮らす外国人

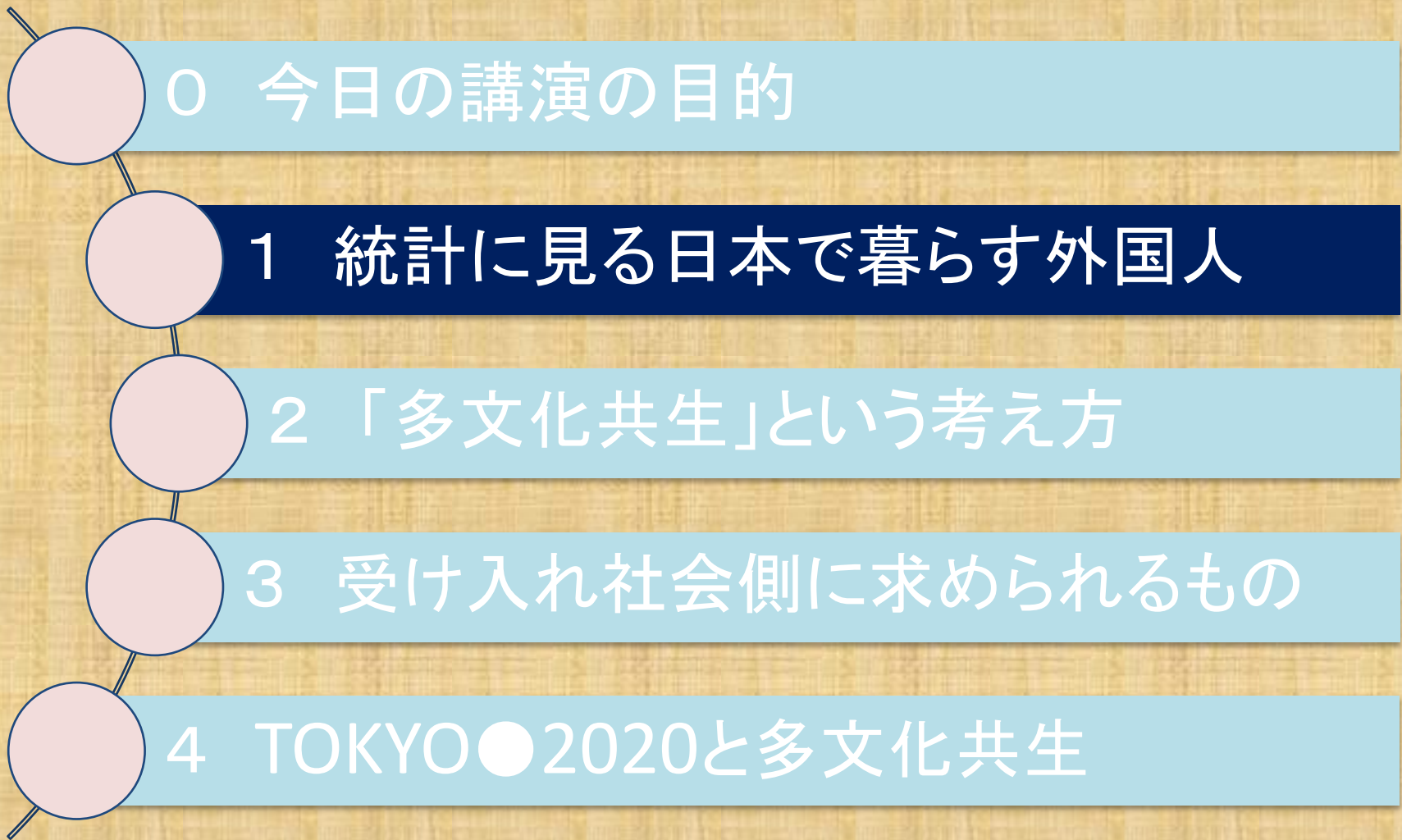
2 「多文化共生」という考え方

3 受け入れ社会側に求められるもの

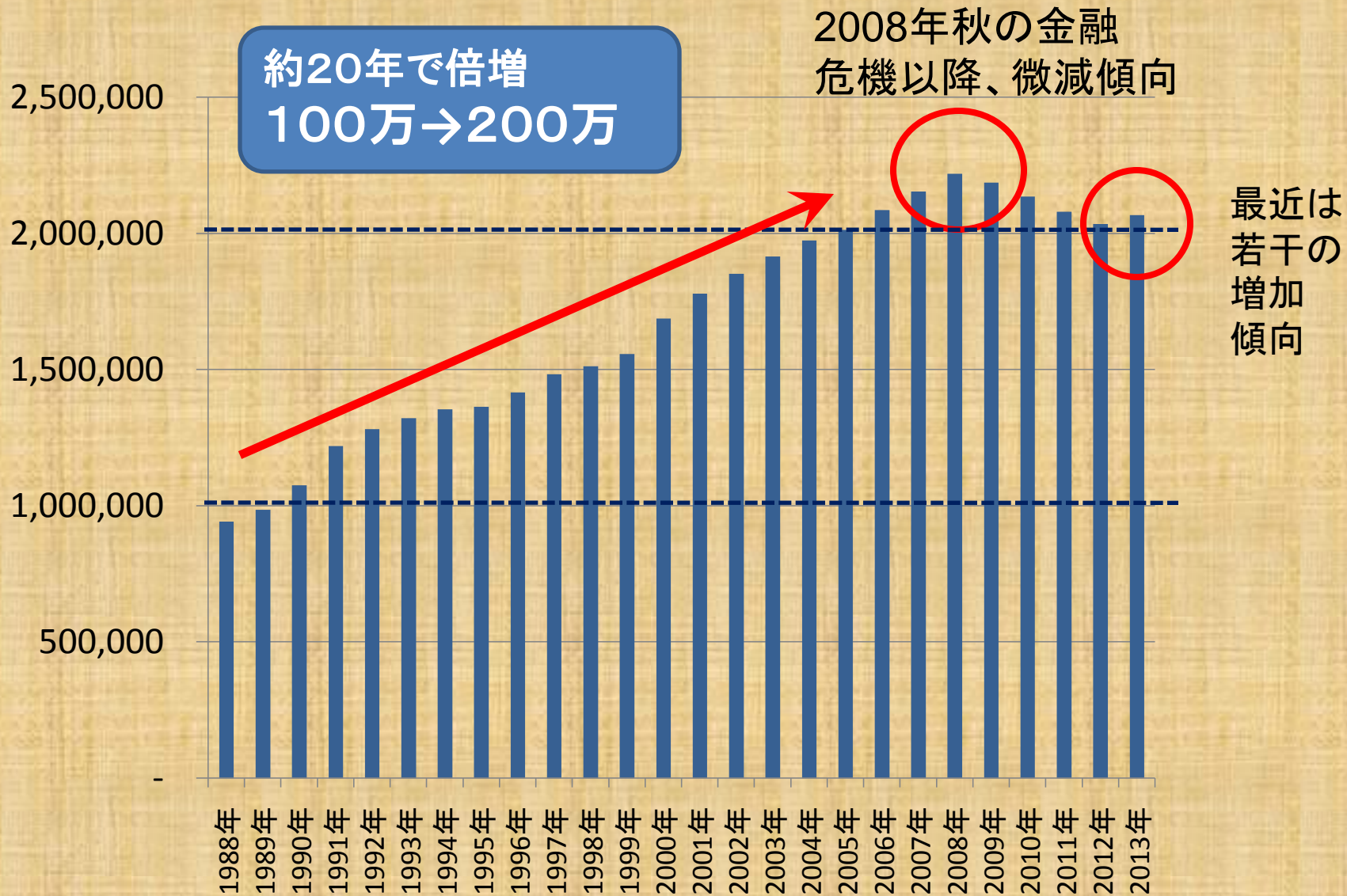
4 TOKYO●2020と多文化共生

今日の講演の目的

- 日本で暮らす外国人の様子
 - 統計に見る推移
- 「多文化共生」という考え方
 - 外国人住民とともに社会を作る理念
 - 社会のユニバーサルデザイン(UD)
- 受け入れ社会側に求められるもの
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックと多文化共生

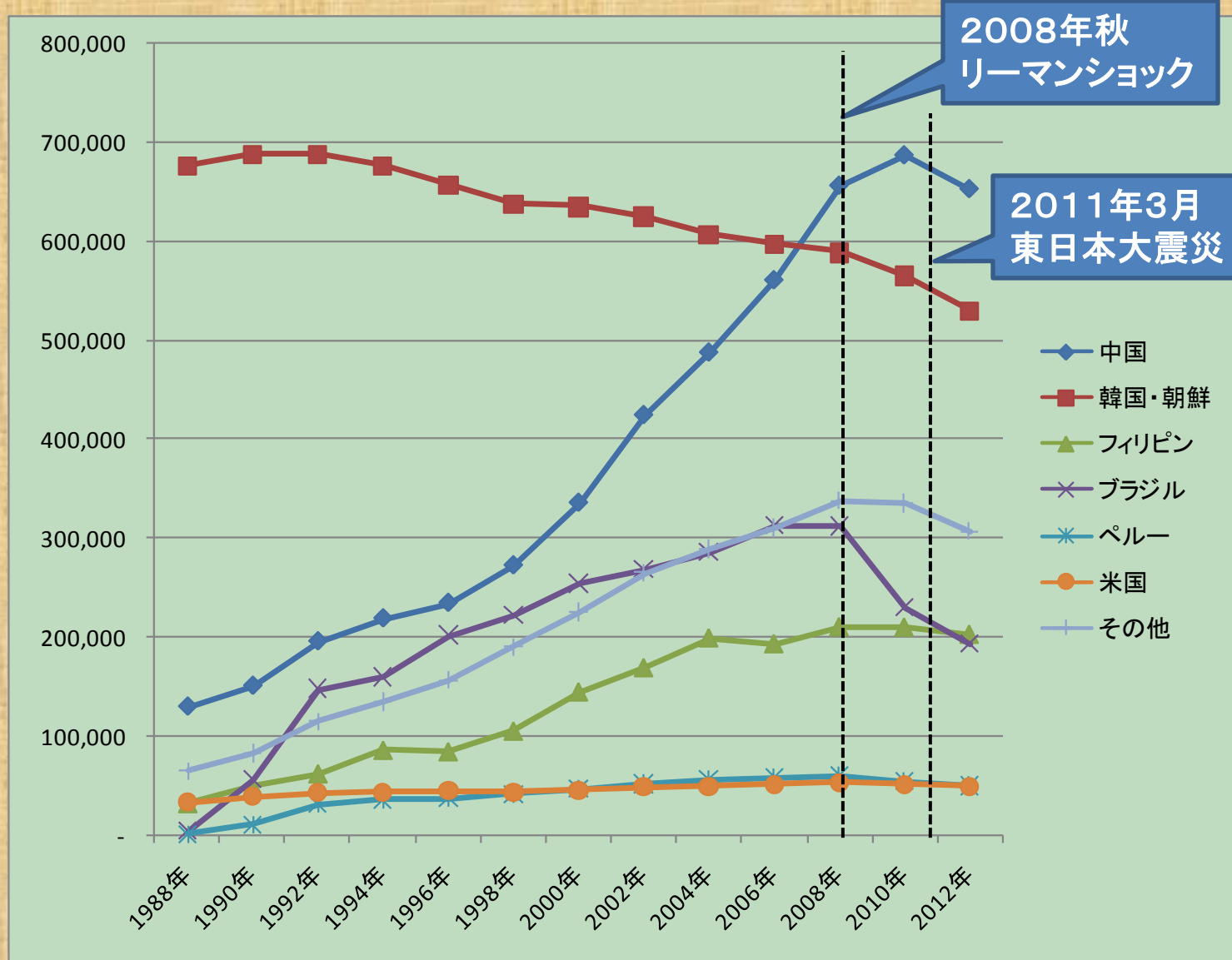


在留外国人数の推移(各年末現在)



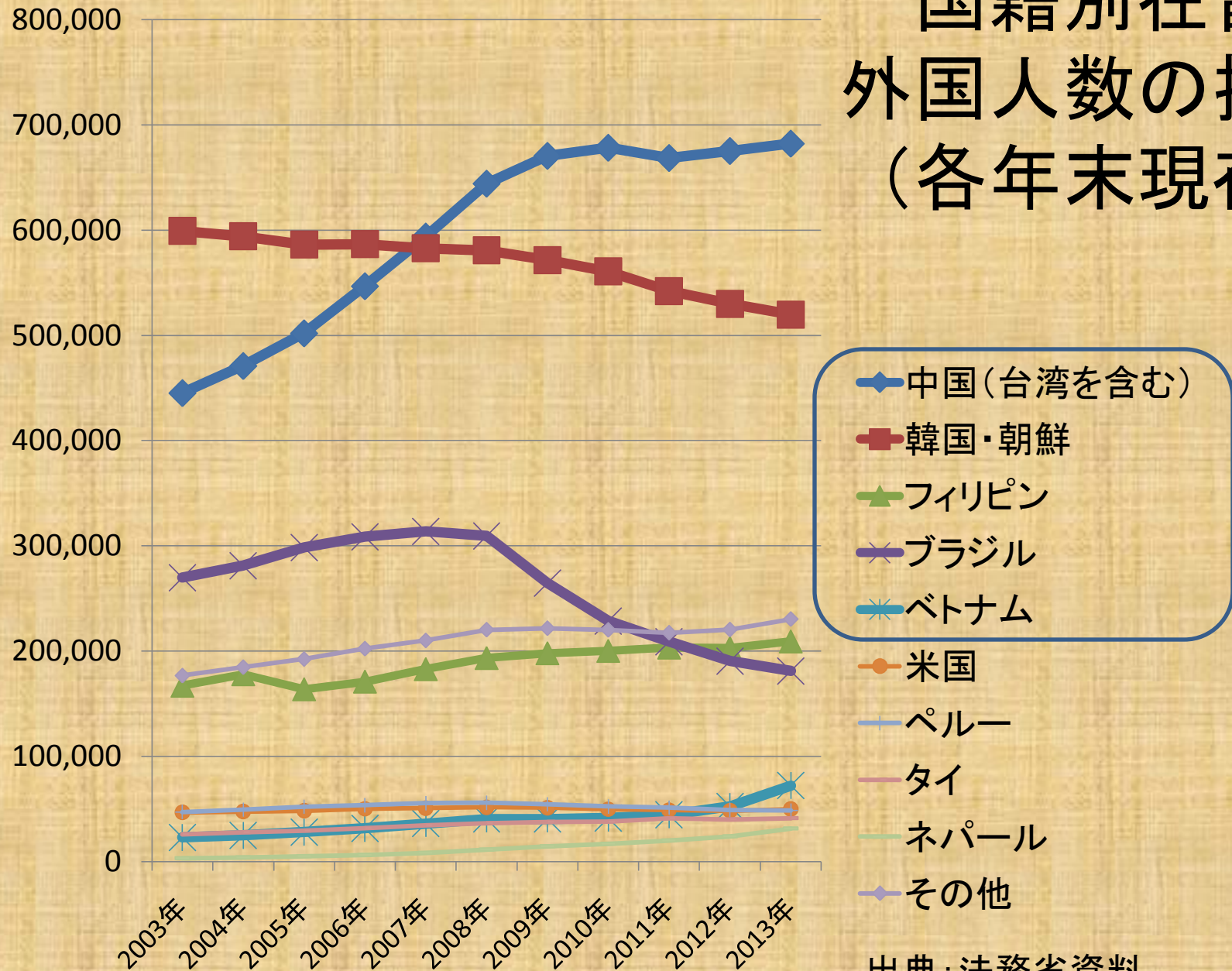
出典:法務省資料

国籍別在留外国人数の推移(各年末現在)



出典:法務省資料

国籍別在留 外国人数の推移 (各年末現在)

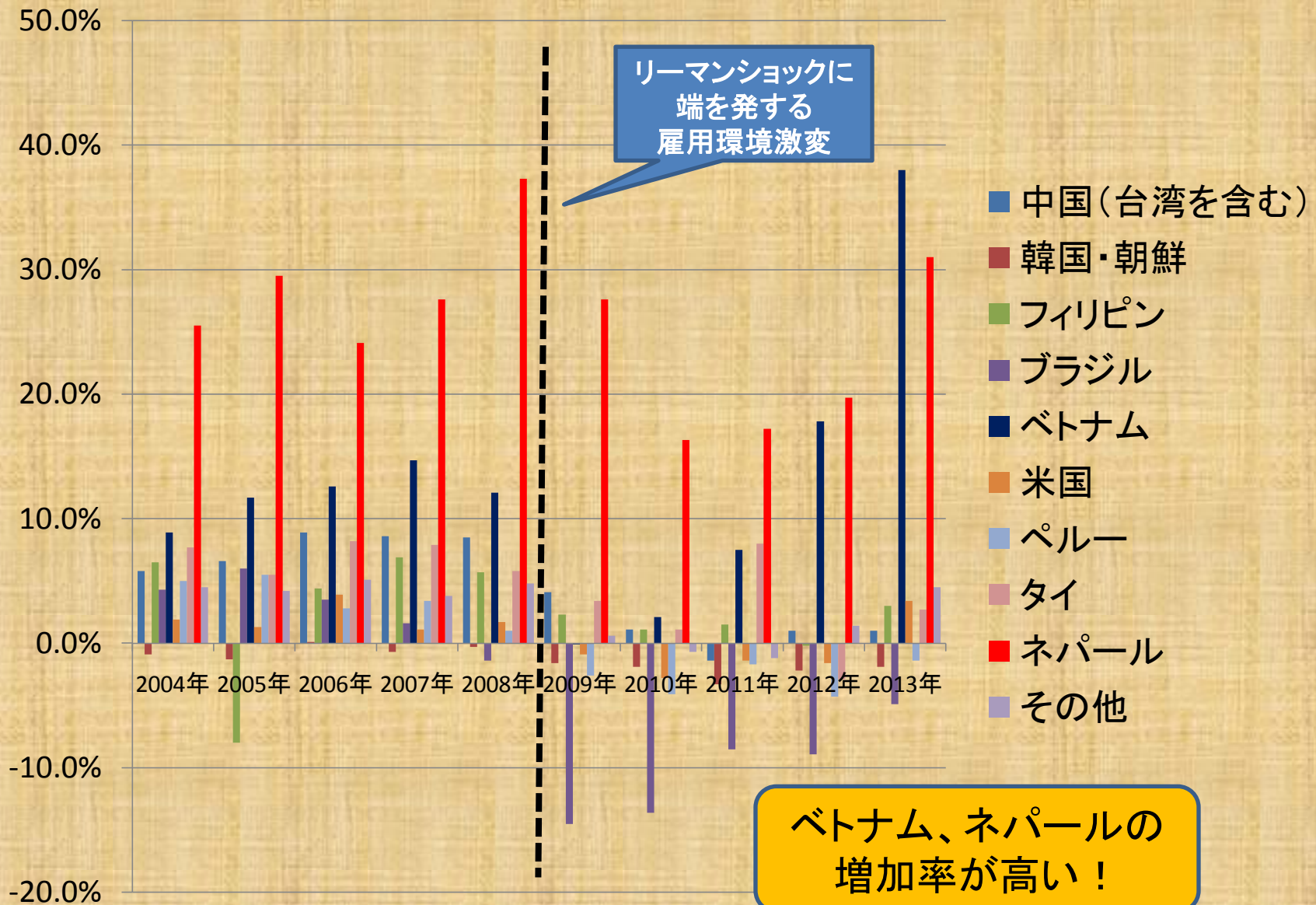


出典:法務省資料

国籍別対前年比の推移(各年末)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
中国 (台湾を 含む)	5.8%	6.6%	8.9%	8.6%	8.5%	4.1%	1.1%	-1.4%	1.0%	1.0%
韓国・ 朝鮮	-0.9%	-1.3%	0.1%	-0.7%	-0.3%	-1.6%	-1.9%	-3.3%	-2.2%	-1.9%
フィリピン	6.5%	-8.0%	4.4%	6.9%	5.7%	2.3%	1.1%	1.5%	-0.2%	3.0%
ブラジル	4.3%	6.0%	3.5%	1.6%	-1.4%	-14.5%	-13.6%	-8.5%	-8.9%	-4.9%
ベトナム	8.9%	11.7%	12.6%	14.7%	12.1%	-0.1%	2.1%	7.5%	17.8%	38.0%
米国	1.9%	1.3%	3.9%	1.1%	1.7%	-0.9%	-2.8%	-1.4%	-1.6%	3.4%
ペルー	5.0%	5.5%	2.8%	3.4%	1.0%	-2.6%	-4.1%	-1.7%	-4.3%	-1.4%
タイ	7.7%	5.5%	8.2%	7.9%	5.8%	3.4%	1.1%	8.0%	-2.9%	2.7%
ネパール	25.5%	29.5%	24.1%	27.6%	37.3%	27.6%	16.3%	17.2%	19.7%	31.0%
その他	4.5%	4.2%	5.1%	3.8%	4.8%	0.6%	-0.7%	-1.2%	1.4%	4.5%

国籍別対前年比の推移(各年末)



出典:法務省資料

在留資格の永住/非永住に注目して 2000、2005、2010の各年末で比較

	2000年末	2005年末	2010年末
外国人登録総数	1,686,444	2,011,555	2,134,151
□永住	657,605	801,713	964,195
%	39.0%	39.9	45.2%
一般永住者	145,336	349,804	565,089
%	8.6%	17.4%	26.5%
特別永住者	512,269	451,909	399,106
%	30.4%	22.5	18.7
□非永住者	1,028,839	1,209,842	1,169,956
%	61.0%	60.1%	54.8%

出典：
法務省資料

2000年から2010年の10年間で、永住者は約30万人増加。とくに一般永住者が急増。

「一般永住者」の条件

- 法律違反なし
- 納税義務履行等
- 原則として10年以上在留

10年在留要件の特例

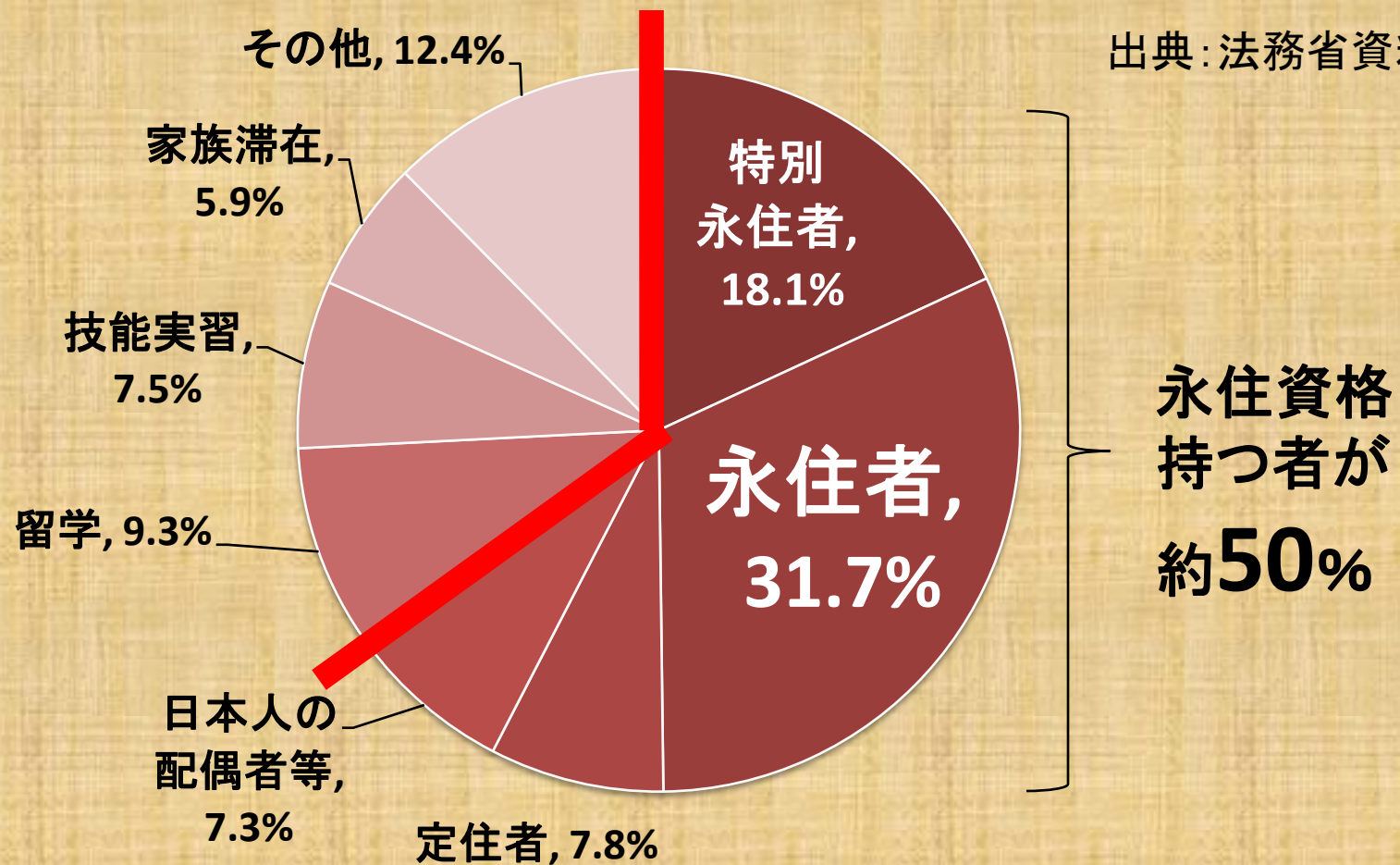
- 「定住者」: 5年以上
- 「日配」や「永配」:
実態を伴う婚姻3年以上
かつ日本に1年以上滞在



一般
永住者
増加

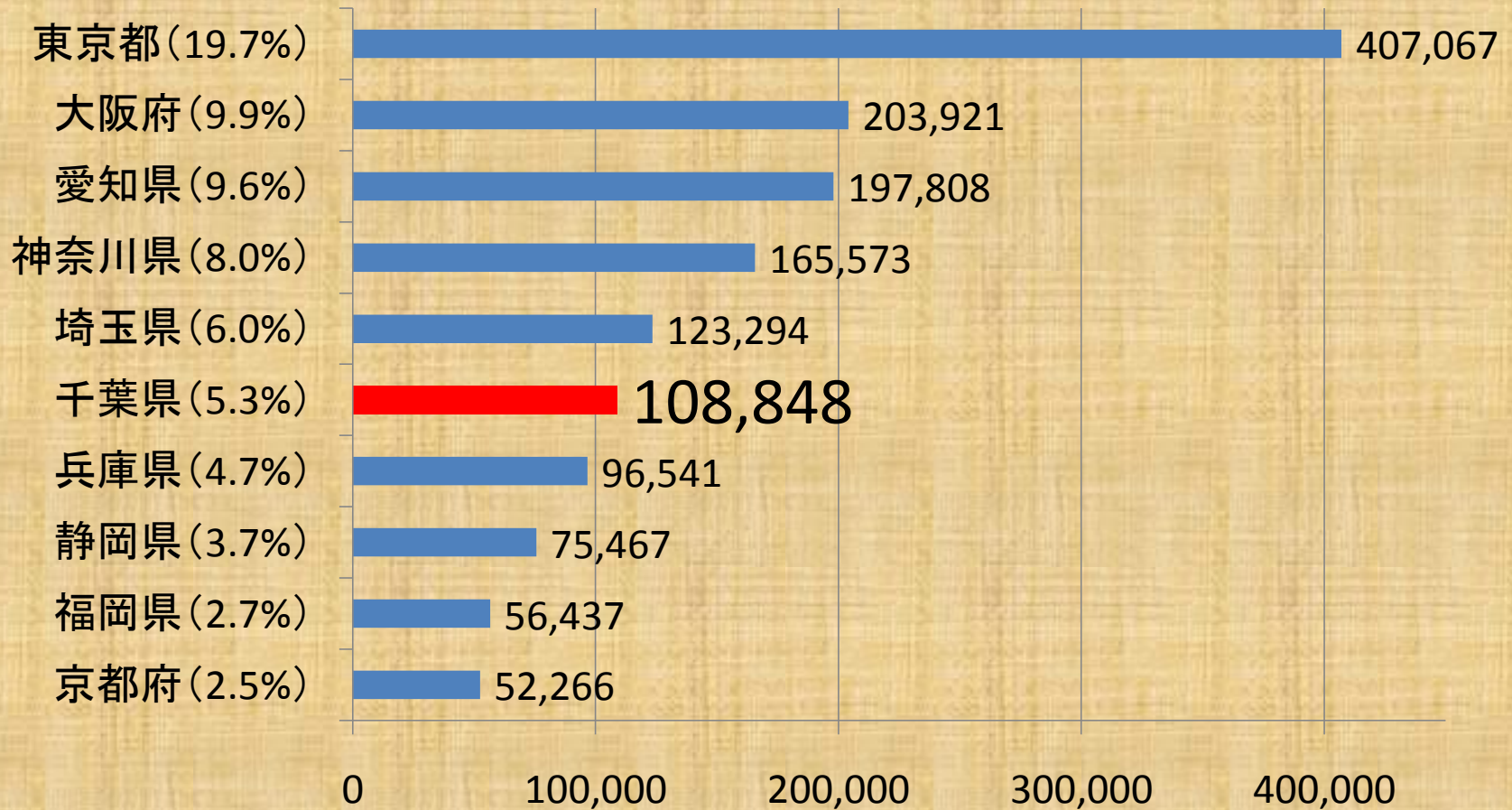
在留資格別人口 (2013年12月末)

出典: 法務省資料



永住 + 定住者 + 日配 (+ 永配) = 実質的な「移民」
49.8% + 7.8% + 7.3% (+ 1.2%) = 66.1%

都道府県別外国人人数(2013年12月末)



出典:法務省資料

全国と千葉県の外国人の 国籍別人数と比率 (2013年12月末)

	全国人数	全国%	千葉県人数	千葉県%
中国(台湾を含む)	682,302	33.0%	43,494	40.0%
韓国・朝鮮	519,737	25.2%	16,443	15.1%
フィリピン	209,137	10.1%	15,799	14.5%
タイ	41,204	2.0%	4,967	4.6%
ブラジル	181,268	8.8%	3,689	3.4%
ベトナム	72,238	3.5%	3,480	3.2%
ペルー	48,580	2.4%	2,839	2.6%
米国	49,979	2.4%	2,028	1.9%
ネパール	31,531	1.5%	2,026	1.9%
合計	2,066,445	100%	108,848	100%

70%

全国と千葉県の外国人の 在留資格別人数と比率 (2013年12月末)

	全国人数	全国%	千葉県人数	千葉県%
特別永住者	373,221	18.1%	8,312	7.6%
永住者	655,315	31.7%	40,123	36.9%
日本人の配偶者等	151,156	7.3%	11,175	10.3%
定住者	160,391	7.8%	8,999	8.3%
留学生	193,073	9.3%	9,680	8.9%
技能実習	155,206	7.5%	6,394	5.9%
家族滞在	122,155	5.9%	8,272	7.6%
人文知識・国際業務	72,319	3.5%	4,757	4.4%
技術	43,038	2.1%	3,344	3.1%
技能	33,425	1.6%	1,852	1.7%
合計	2,066,445	100%	108,848	100%

63%

-
- 0 今日の講演の目的
 - 1 統計に見る日本で暮らす外国人
 - 2 「多文化共生」という考え方
 - 3 受け入れ社会側に求められるもの
 - 4 TOKYO●2020と多文化共生

多文化共生とは？

- 外国人市民を含めた社会づくりのスローガンとして普及。
- 1990年代前半から外国人の多い自治体で使用。
- その後「草の根」的活動を基礎に広がる。
- 「共に(社会の構成員として)生きる」の意味。
- 日本人と外国人が共に地域社会を形成してゆく積極的方向性を示す理念として、行政が使用。

しかし必ずしも明確な概念ではない！

「多文化共生」という考え方ー2つの代表的定義

「多文化共生推進プログラム」(総務省、2006年3月)による多文化共生

- 国籍や民族などの異なる人々が、…………… (1) 国籍や民族の多様性
互いの文化的ちがいを認め合い、…………… (2) 多文化の承認
対等な関係を築こうとしながら、…………… (3) 対等性
地域社会の構成員として共に生きていくこと… (4) 地域社会での参加の主体

「豊田宣言」(外国人集住都市会議、2004年10月)による多文化共生社会

日本人住民と外国人住民が、
互いの文化や価値観に対する理解と尊重を深めるなかで、
健全な都市生活に欠かせない権利の尊重と義務の遂行を基本とした
真の共生社会

文化の
多様性

相互理解
相互尊重

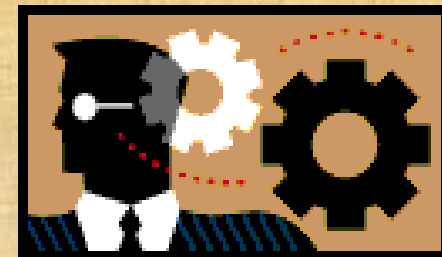
権利と義務

社会参加

外国人政策の2つの柱

(1) 出入国政策

(2) 社会統合政策



出入国政策



社会統合政策

受け入れ
社会

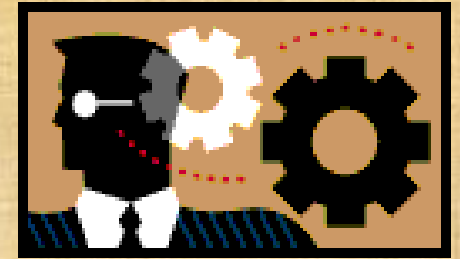
外国人



外国人政策の2つの柱

- 出入国政策
 - 受け入れの量的・質的コントロール
 - どのような外国人をどのような規模で、どのような条件で受け入れるか
- 社会統合政策
 - 外国人側への政策と受け入れ社会側への政策
 - 入国した外国人を社会における対等な構成員として受け入れるためにはどうすればよいか

日本の場合、
出入国政策はあるが、
国の社会統合政策は欠如。
地方の取り組みが先行。



出入国政策



社会統合政策

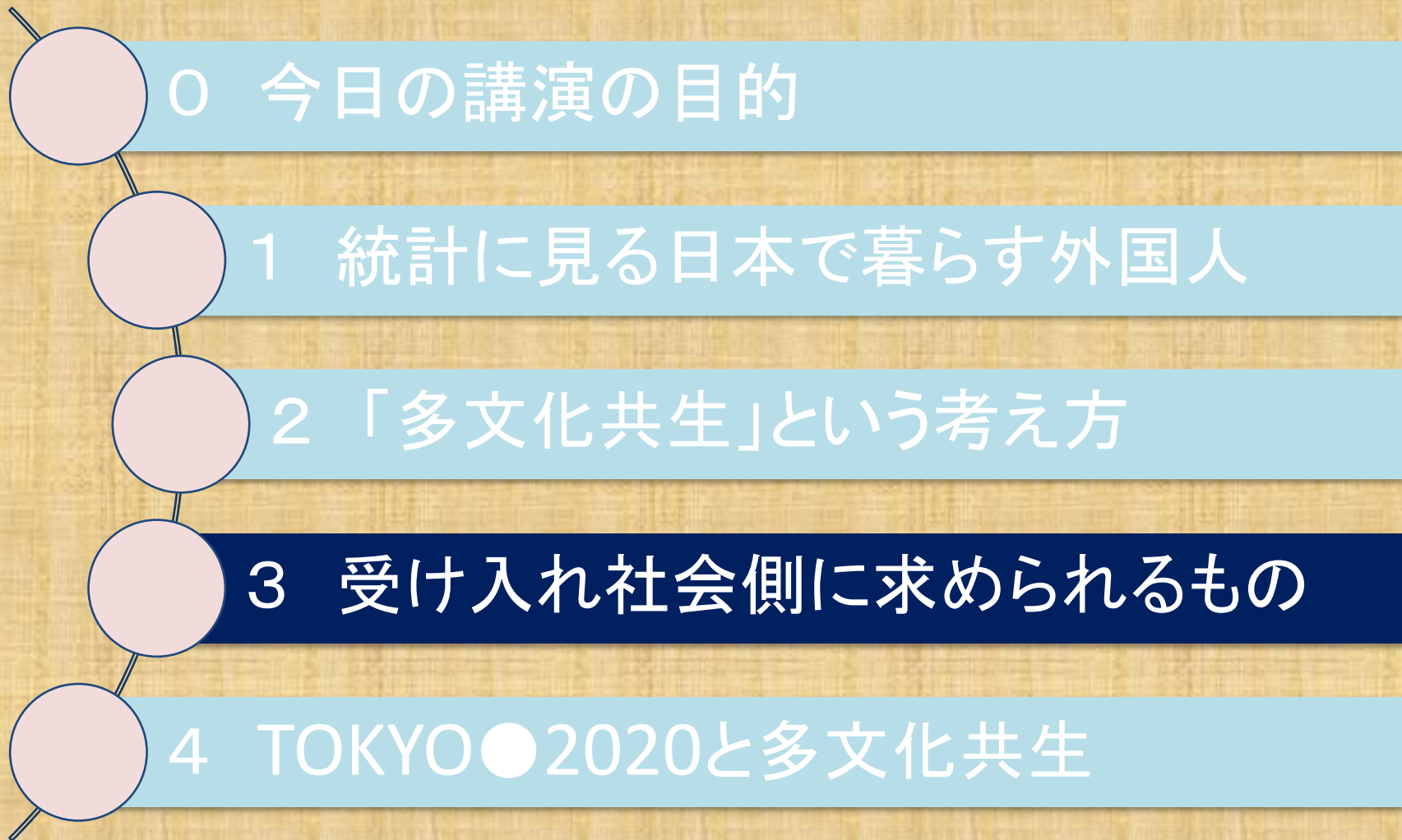
受け入れ
社会

外国人



社会統合（多文化共生）政策の具体例

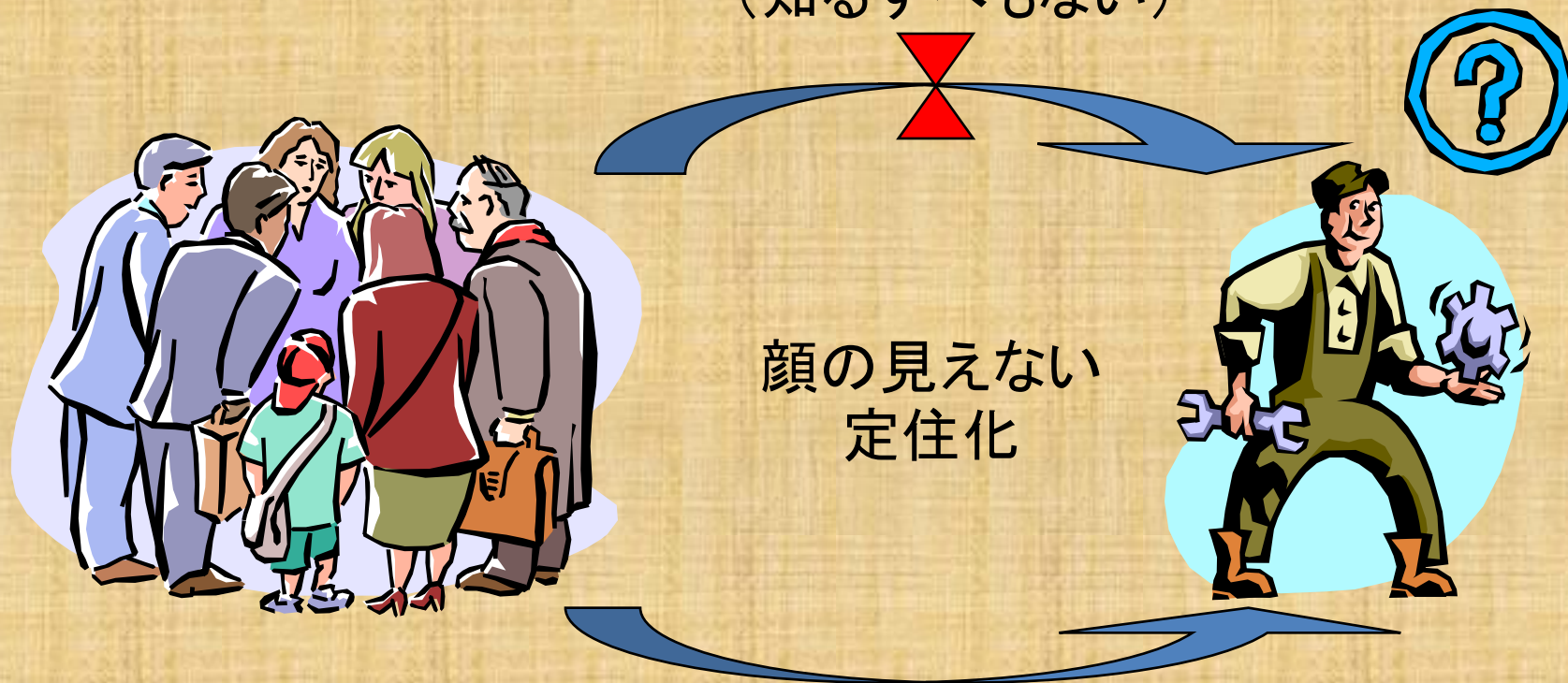
- 労働政策
 - 雇用対策、労働保険
- 社会保障政策
 - 医療や年金、生活扶助、住宅保障
- 教育政策
 - 子どもに対する教育
 - 大人に対する教育（公用語習得）
- 受け入れ社会に対する政策
 - 人権尊重、異文化理解促進

- 
- 0 今日の講演の目的
 - 1 統計に見る日本で暮らす外国人
 - 2 「多文化共生」という考え方
 - 3 受け入れ社会側に求められるもの
 - 4 TOKYO●2020と多文化共生

「顔の見えない」関係の危うさ

目の前に住む外国人を知ろうとしない

(知るすべもない)



マスメディアで報道される否定的イメージ
を投影 … 「外国人は怖い！」

ユニバーサルデザイン(UD)とは？

- 米国ノースカロライナ州立大学の建築学教授、ロナルド(ロン)・メイスが提唱
- 自身がポリオの後遺症で車いすユーザー
- 同じく車いすユーザーの奥さんとUDを概念化

簡単に言えば、

できる限り最大限すべての人が利用できるよう、
製品、建物、空間をデザインすること

ユニバーサルデザインの7原則

- 誰でも公平に利用できる
- 使う上で自由度が高い
- 使い方が簡単ですぐわかる
- 必要な情報がすぐに理解できる
- うっかりミスや危険につながらない
- 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使える
- アクセスしやすい(近づきやすい)スペースと大きさを確保する

(どんな姿勢、体格、移動能力でも届きやすく操作しやすい)

〇〇のユニバーサルデザイン

- 道のUD
- 公共交通のUD
- 建物のUD
- オフィス機器のUD
- 券売機のUD
- 水回りのUD
-

- 女性が使いやすい
- 障がい者がー
- 高齢者がー
- 子どもがー
- 外国人がー
- **みんながー**

差別のない
社会づくりのために！

- ユニバーサルデザインの心

- 高齢者や障がい者などにとって使いやすいものは多くの人々にとっても使いやすい

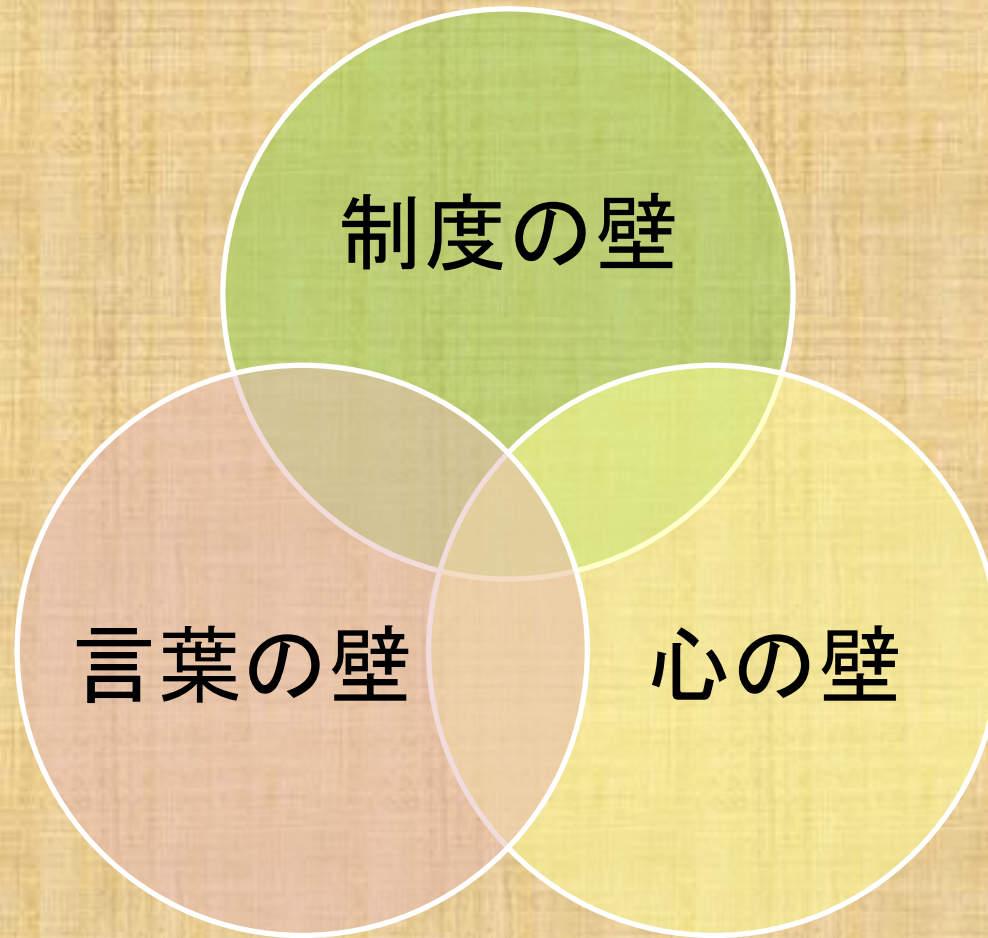


**社会の在り方にも
ユニバーサルデザインを！**

- 21世紀の地域コミュニティは多様な人を含む

- 外国人を排除するのではなく、仲間に
- 地域コミュニティのあり方をユニバーサルデザイン化

多文化共生を阻む3つの壁



社会のユニバーサルデザイン

- 多様な人びとに社会を開く
- 多様な人びとの社会参加を促す
- それが地域の「力」になる

多文化共生は
言葉や文化の壁を越えて
多様な人びとをつないでゆく
社会のユニバーサルデザイン

-
- 0 今日講演の目的
 - 1 統計に見る日本で暮らす外国人
 - 2 「多文化共生」という考え方
 - 3 受け入れ社会側に求められるもの
 - 4 TOKYO●2020と多文化共生

TOKYO ● 2020をどう生かすか

- 技能実習生を地域につなぐ
 - 一定期間の「ローテーションワーカー」
 - しかし、一定の日本語能力
- 留学生と子どもたちの出会いをつくる
 - TOKYO ● 2020参加国と「顔」が結びつく
- 「3F」から普段着の多文化共生へ
 - Food, Fashion, Festivalはきっかけとして有意義
 - その次のステップへ。実質的「移民」との連携